

高校生が名谷キャンパスで作業療法学専攻の学生と交流しました

2025 年 12 月 15 日

保健学に興味を持つ県立兵庫高校生 19名が本学を訪問し、作業療法学に関する授業見学・体験を通して 3 年生と交流しました。

高校生は、まず「精神医学Ⅱ」の授業で、2 年生が調べたこと(PTSDの病状説明と、作業療法士としてできること)の発表場面を見学しました。

次に、模擬授業として長尾准教授の講義(作業療法の基礎的知識)を聴講し、最後に「リハ工学・福祉用具学実習」の授業に参加しました。この授業では、3 年生が『利き手交換』(脳疾患などにより利き手が麻痺してうまく使えなくなった場合、非利き手で書字などを行うこと)について、高校生のために実習を準備しました。

高校生は 3 年生と交流しながら実習を経験し、疾患で生じた障害に対する作業療法の役割について理解を深めました。



課題についての説明中



非利き手でぬり絵に挑戦



沢山の高校生が参加してくださいました